

未来を見つめよう

—将来の夢に向かってチャレンジ—



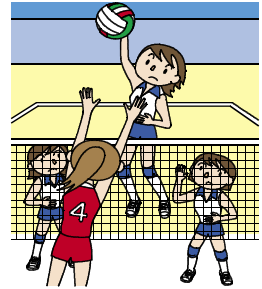
群馬県桐生市立梅田中学校
第1学年講演会資料

2022年3月2日(水)
14:00~15:30

開倫塾
塾長 林 明夫
(群馬経済同友会 会員)

Q 1 : この講演会の目的(ねらい)は何ですか

- A : (1)自分の生き方を考え、
(2)進路に向けて、
(3)自己実現できる能力・態度、
コミュニケーション能力・主体性などを身に付けよう
* 「キャリア学習」に取り組もう



Q 2 : 自己紹介として、好きなことばを紹介してください

- A : (1)「ブルドッグ魂」…食いついたら離すな
(2)「練習で泣いて、試合で笑え」
(3)「スポーツの3つの宝」
①「練習は不可能を可能にする」
②「フェアプレイ」
③「よき友」
(4)「会った人は皆、友達」
(5)「If you can dream, you can do it!»



—もしあなたが夢をみることができれば、あなたはそれをする事ができる—

Q 3 : これからの社会はどのような社会ですか。そこで求められる人材・技能・能力は何ですか

- A : (1)「知識基盤社会(知識が基盤になった社会)」
ちしききばん
→「知識・情報・技術をうまく組み合わせながら用いる能力」
①「知識」：学校で学ぶような「知識」
②「情報」：インターネットなどで得られる「情報」
③「技術」：ワード・エクセルなどを基本的に用いる技術
* 「レゴ」、「ミニ四駆」、「ハンダ付け電子工作(ライトレースカー・ラズベリーパイ・ロボット)」に挑戦。「半導体」について学ぼう
* 「数学」「理科」「美術・音楽」「技術・家庭・情報」は特に大切
- (2)「グローバル化社会」
たよう
→「多様な集団で交流する能力」
①「多様な集団」：国・地域・言語・宗教・文化・伝統・生活習慣・考え方が自分と異なる集団
②「交流する力」：「うまくやる力」「相手の立場をよく理解・尊重して、争いごと・紛争をおこさないでうまくやる力」
③そのためには、まずは、自分自身のこと、日本のことをよく知ることが大事
* 共通して用いることばは「英語」：英語は世界の共通語
* 国語(現代文・古文・漢文)と社会(地理・歴史・公民)は特に大切



(3) 「課題山積社会」(課題が山のように積まれた社会)

→ SDGs、「高い志」をもち、自律的に活動する能力

① 「課題山積」：日本にも、世界にもみんなですべて解決しなければならない課題が山のようにあります

② 「高い志」：自分のため、みんなのため、社会のために力を合わせて解決

③ 「何が課題(問題)か」、「その本当の原因は何か」、「とりあえずどうしたらよいか」、「ゆくゆくはどうしたらよいか」を調べ、考え、話し合しましょう

* 「チャレンジ」している人がどこにいるのかも、「アンテナ」を広げて調べましょう

Q4：ところで、仕事とは何ですか。人は何のために仕事をする(働く)のですか

A：(1)仕事とは、「もの」や「サービス」を「お客様に提供」することです

①すべての仕事には「お客様」がいます

②仕事とは、お客様に「もの」や「サービス」を「提供」して、「お客様の問題解決」の「お役に立つ」ことです

③世の中には同じようなお客様がいますので、「仕事をする(働く)とは、ものやサービスを提供して、お客様のお役に立つこと、社会のお役に立つこと」だと考えます

* 「仕事とはお客様のお役に立つこと、社会のお役に立つこと」と考えます



(2)人は何のために仕事をする(働く)のか

①「ものやサービスを提供して、お客様や社会のお役に立つため」

②「仕事を通して、自分の夢や希望を実現(自己実現)するため」

* 「自己実現」とは、「自分の夢や希望を実現する」ことと考えます

③「生活できるだけの収入を得るため」



Q5：お客様や社会のお役に立てるような仕事をするためには、中学校時代や高校時代に何をしたらよいのですか。また、社会に出てからどうしたらよいのですか

A：(1)①中学校で学ぶすべての教科のすべての内容は、高校ですべて役立ちます

②高校で学ぶすべての教科のすべての内容は、大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院などで役立ちます

③中学校や高校などで学ぶすべての教科のすべての内容は、社会に出てから仕事や社会的活動、よく生きるために役立ちます。一生役立ちます

(2)①役に立たないことは1つもありません。すみからすみまでしっかり学び、よく「理解」し、「定着(身に着ける)」を心掛けましょう

②ですから、中学校や高校のすべての教科の教科書や様々な活動の記録などは決して処分しないで保存。一生かけて、繰り返し「学び直し」しましょう

③もう一度勉強したくなかったときに、パツパツと取り出せる場所に置いておき、必要なところは、いつでも「学び直す」ことが大事です

* 以前使った教科書は、定期試験や入学試験だけでなく、勉強していてよくわからなくなってきたところを「遡って勉強し直す」のに役立ちます

(3)就職試験や国家試験、資格試験には、中学校や高校の内容が山ほど出題されます。

そのときに、新しい教材を買い直して勉強するよりは、中学校・高校時代に使っていた教科書を用いて勉強するほうがとても効率的です

- ①社会に出て仕事や社会的活動、自分の人生を充実させて豊かに過ごすための勉強をするときに、中学校・高校の教科書は計り知れないほどの「宝物」「幸福の青い鳥」となります
- ②中学校で学ぶことは、一生のうち中学校でしか学びません。ですから、毎回の授業は大切に受けてください
- ③中間試験・期末試験・学年末試験など「定期試験」は、今までに学んだことをきちんと勉強するよいチャンスとなります。1～2か月かけてしっかり準備。9教科すべて、スミからスミまでよく理解し、定着させてください

(4)①中学校で行う教科以外のすべての教育活動、つまり、「部活動」、「学級活動」、「生徒会活動」、「当番」、「学校行事」などありとあらゆる活動も、高校や大学に進学してから、また、社会に出てから役立ちます

- ②ですから、1つ1つしっかりと取り組んでください
- ③一生役立つものばかりです

* 1つ1つの「価値(大切さ)」「意味(意味付け)」「秩序」を考えながら、じっくり取り組みましょう



Q 6 : 中学校時代に身に付けておいたほうがよいことは何ですか

A : (1)「勉強の仕方」…

社会に出てからも新しいことをたくさん学びます。そのたびごとに、どうしたらよいかと悩んでいたのでは勉強が進みません。中学校時代に勉強の仕方を身に付けてください

- ①「予習の仕方」
- ②「授業の受け方」
- ③「復習の仕方」
- ④「定着の仕方」…「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」は有効
- ⑤「ノートの取り方」

・「仕事はメモで身に着ける」といわれます。大切なことはしっかりノートにメモ
・「ノート整理」、「ノートの内容をしっかりと理解」し、「定着させ(身に着け)」、「応用・テストや仕事に活かす」

- ⑥「テストの受け方」

・社会に出て「テスト」がたくさんあります
・中学校の「定期テスト」などでテスト対策の勉強の仕方を身に着ける
・社会に出てからも活かしてください



<テストは、1～2か月前から準備(難しいテストは1～2年かけて準備)し、教科書や教材、ノートをスミからスミまで覚え、「100点満点」を取る>

(2) 「辞書、新聞、読書」に親しみ、「読解力」を身に着け、「学習習慣」とする

① 「辞書」：意味のよくわからない「語句」があったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書を引いて調べる「学習習慣」を身に着けよう

* 辞書で調べた内容は「意味調べノート」「カード」に書き写し、何回も繰り返し学び直し、すべて覚える

② 「新聞」：中学生は毎日 30 分以上新聞を読む

* 新聞をていねいに読んで、「自分で考える力」「批判的思考能力ひはんてき」（これはおかしいのではないかと考える力）を身に着ける

* 気になる記事は切り抜き、「スクラップブック」をつくり、繰り返し読み、考える

③ 「読書」：学校の教科書で紹介された本や、図書室にある本をできるだけたくさん読む

・「本は、最後まで読む」
・「本は、4～5回読む」

本をじっくり読んで考える

・「書き抜き読書ノート」（気に入ったことばや文章を書き抜くノート）をつくる

* 読書によって「思慮深さしりよぶか」「自省（自分を振り返る）心」を身に着ける

* 「作者（筆者）との時空を超えた対話じくう たいわ」

(3) 「5 S (ゴエス)」も大切

① 「整理せいり」(seiri) … いらないものを処分する

② 「清掃せいそう」(seisou) … きれいに掃除そうじをする

③ 「整頓せいとん」(seiton) … ものと同じ場所に置く

④ 「清潔せいけつ」(seiketsu) … ①～③を保つたも

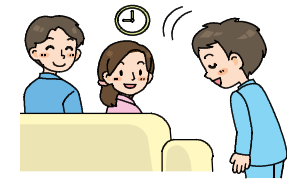
⑤ 「躰しつけ」(shitsuke) … 自分から進んで行く

(4) 別の意味の「躰」も大切

① 「美しい立居振舞たちいふるまい」… 「服装」も大事

② 「美しい言葉遣ことばづかい」… 「敬語表現を含む言葉遣けいごひょうげん ふくい」

③ 「元気なあいさつ」… 「あいさつは自分からするもの」



Q 7 : 最後一言どうぞ

A : (1) 身近な人、友人、クラス、学校、桐生市、群馬県、日本、アジア、各々のよいところを探し、認め合い、ほめ合い、みんなでどんどん伸ばす

(2) 同じように、自分のよいところを探し、認め、どんどん伸ばす

(3) 自己責任。自助努力。自分の未来は自分で切り開く

(4) 「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」

(5) 「一生青春、一生勉強」

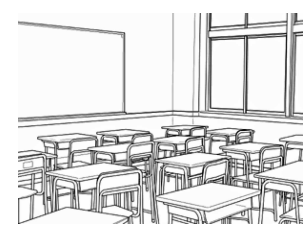
(6) 「人生青天井あおてんじょう、一生青天井」



ご清聴ありがとうございました

心から感謝いたします

一質問や意見、コメントがあれば自由にご発言ください



感謝